

別記  
第1号様式(第14条関係)

環境マネジメントシステム導入報告書

|                   |              |
|-------------------|--------------|
| ( 宛 先 ) 京 都 府 知 事 | 平成25年 7月 30日 |
| 京都府宇治市槇島町十八30番地   | コーデンシ株式会社    |

|  |   |
|--|---|
| 環境マネジメントシステムの名称                        | ISO14001  |
| 適用範囲                                   | 本社・デバイステクノセンター・コーデンシDH事業所・第三工場  |
| 導入年月日                                  | 2002年 9月 25日  |
| 認証番号                                   | 01159-2002-AE-K03-UKAS/JAB<br>現在は認証機関を変更しておりますので認証番号が異なります。<br>認証番号：07921-B<br>審査機関：ムーディーインターナショナルサーティフィケーション(株)<br>初回登録日：2011年8月22日  |
| 基本方針                                   | 1. 国際標準であるISO14001規格に基づいた環境マネジメントシステムを構築し、汚染の予防と継続的改善に努める。<br>2. 環境に関する法規制、及び当社が同意するその他の要求事項を遵守する。<br>3. 教育訓練により全従業員の環境管理意識と技術を向上させる。<br>4. 社内、社外問わず、環境に関する情報交換を積極的に推進する。   |
| 環境に配慮した事業活動を自主的に進めていくための目標(以下「目標」という。) | 1. 電気、燃料等エネルギー使用量低減。<br>2. 廃棄物の排出抑制および、リサイクル化の推進。<br>3. 化学物質等の管理を徹底し大気・河川への排出および流出の予防。  |
| 目標を達成するための取組の内容                        | 京都地区温室効果ガスCO2換算排出量<br>・ボイラー供給水の水质改善機器(LSFTC)導入<br>→缶内スケール剥離効果による熱伝導率向上(都市ガス使用量低減)<br>・ウエハロス率低減<br>全社電力使用量<br>・照明LED化<br>・外気調和機～送気ダクトの遮熱塗料施工<br>・事務所集約<br>・生産閑散期での余剰設備立ち下げ<br>・照明間仕切り<br>・室外機遮光カーテン・スプリンクラー設置<br>・クールビズ実施による空調使用抑制<br>全社年間電力使用量/1000chip<br>・ウエハロス率低減<br>社用車ガソリン使用量/売上100万円<br>・エコカー導入 |
| 目標を達成するための取組の進捗状況                      | 京都地区温室効果ガスCO2換算排出量 : LSFTC導入検討中。<br>特別管理産業廃棄物/1000chip : 歩留まり改善活動実施中。<br>全社電力使用量 : 節電及びエネルギー効率的活用実施中。<br>全社年間電力使用量/1000chip : ウエハロス率低減活動実施中。<br>社用車ガソリン使用量/売上100万円 : エコカー導入検討中。   |
| 目標を達成するための取組の成果及び当該成果に対する評価            | 各種省エネ活動およびに処理効率の高いガスを使用する設備を中心に稼働させたことにより、昨年度よりも温室効果ガス排出を削減できた。   |
| 事業活動に係る法令の遵守の状況                        | 京都府庁への関連法規(水質汚濁防止法、大気汚染防止法)に関わる測定結果の定期報告を行っている。これまで違反及び行政当局からの指摘はなかった。  |
| 環境マネジメントシステムの評価及び見直しの内容                | 評価、見直しの必要性については、1年に1回行っている。2013年度は同一のシステムで運用されるが、目標達成の為、下記のように取組事項を変更していく。<br>1. LSFTC導入<br>2. 節電及びエネルギー効率的活用<br>3. エコカー導入<br>4. 歩留まり改善。  |

注 認証番号の欄は、導入した環境マネジメントシステムについて第三者の認証を受けている場合のみ記入してください。